



2026年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年9月11日

東

上場会社名 株式会社ソフトウェア・サービス 上場取引所
コード番号 3733 URL <https://www.softs.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 宮崎 勝
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部次長 (氏名) 正田 就康 TEL 06-6350-7222
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第3四半期の連結業績(2025年11月1日～2026年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期第3四半期	32,997	14.8	5,578	△4.7	5,666	△4.1	3,755	△8.7
2025年10月期第3四半期	28,744	△1.6	5,852	△3.9	5,909	△3.8	4,112	△3.5

(注) 包括利益 2026年10月期第3四半期 3,780百万円(△8.2%) 2025年10月期第3四半期 4,119百万円(△4.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期第3四半期	738.55	—
2025年10月期第3四半期	785.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期第3四半期	43,608	37,098	85.1
2025年10月期	52,188	41,896	80.3

(参考) 自己資本 2026年10月期第3四半期 37,098百万円 2025年10月期 41,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	0.00	—	160.00	160.00
2026年10月期	—	0.00	—	—	—
2026年10月期(予想)	—	—	—	170.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年10月期の連結業績予想(2025年11月1日～2026年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	44,338	4.8	8,795	4.8	8,875	4.8	5,982	△2.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年10月期 3 Q	5,488,000株	2025年10月期	5,488,000株
2026年10月期 3 Q	945,247株	2025年10月期	252,915株
2026年10月期 3 Q	5,085,621株	2025年10月期 3 Q	5,233,487株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいており、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、様々な要素によりこれら業績見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績等に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向などが含まれます。ただし、業績等に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. その他	9
(1) ハードウェア仕入実績	9
(2) 受注実績	9
(3) 販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資の持ち直しなどを背景として、緩やかな回復基調で推移しております。一方で、物価上昇の継続に加え、中東情勢を背景とした原油価格の動向、金融政策の動向、海外経済・通商政策を巡る不確実性などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

医療業界においては、高齢者人口の増加と人口減少への対応が求められる中、質の高い効率的な医療・介護提供体制の構築が進められております。医療従事者の確保・負担軽減や働き方改革が重要な課題とされ、行政主導による「全国医療情報プラットフォームの創設」「電子カルテ情報の標準化」「診療報酬改定DX」など、医療・介護DXの推進が図られております。また、2026年度診療報酬改定が施行され、医療従事者の処遇改善や物価高騰への対応など、医療機関の経営環境の改善に向けた措置が講じられております。一方で、医療従事者不足への対応に加え、医療DXへの対応や老朽設備の更新、サイバーセキュリティ対策等に伴う投資負担が増す中、病院経営を取り巻く環境は依然として厳しく、経営の一層の効率化が求められております。

このような環境のもと、電子カルテをはじめとする医療情報システムは今後も普及拡大が進み、既存システムのリプレイス需要も加わり、引き続き、医療情報システム市場の競争は一層活発化するものと考えられます。

当社グループにおきましては、電子カルテシステムをはじめとする医療情報システムの開発・販売・導入・保守を中心に事業展開し、顧客満足度の向上に努めてまいりました。本社、東京支社及び各ブランチを活用し、各地域での営業・保守体制の強化を図っております。また、将来の人員増加を見据え、社員寮(大阪)のオフィスビルへの建て替え(2027年4月末竣工予定)を進めております。

このような状況の中、売上高は前年同期と比較して増収となりました。一方、メモリ等の半導体価格の高騰による調達コストの増加が継続する中、サーバーリプレイスを含む導入案件におけるハードウェア売上高の構成比が高い水準で推移したことにより、利益面においては前年同期と比較して減益となりました。足元では、DX関連システムをはじめとする既存顧客からの追加システム需要も堅調に推移しており、引き続きこれらの需要を着実に取り込むことで、持続的な成長基盤の構築に努めてまいります。

この結果、売上高は32,997百万円(前年同期比14.8%増)、利益面におきましては営業利益5,578百万円(同4.7%減)、経常利益5,666百万円(同4.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,755百万円(同8.7%減)となりました。

なお、セグメントの業績につきましては、当社グループは医療情報システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

※1 当連結会計年度において、社員寮(大阪)の建て替えに伴う取り壊し費用240百万円を特別損失として計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して8,580百万円減少し、43,608百万円となりました。主な要因は、現金及び預金4,098百万円の減少、売掛金5,305百万円の減少、有価証券200百万円の増加、棚卸資産224百万円の増加及び有形固定資産732百万円の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して3,783百万円減少し、6,509百万円となりました。主な要因は、買掛金1,849百万円の減少、未払法人税等1,488百万円の減少、流動負債「その他」に含まれる未払消費税等137百万円の減少及び未払金326百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較し4,797百万円減少し、37,098百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益3,755百万円の計上、第57期利益剰余金の配当837百万円及び自己株式の取得のための支払7,852百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2025年12月5日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,183	12,084
売掛金	9,750	4,444
有価証券	3,100	3,300
商品	2,443	2,474
仕掛品	451	644
その他	720	697
貸倒引当金	△9	△4
流動資産合計	32,639	23,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,964	5,773
機械及び装置（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	436	452
土地	11,616	11,616
建設仮勘定	105	1,013
有形固定資産合計	18,124	18,857
無形固定資産	16	15
投資その他の資産	1,408	1,092
固定資産合計	19,549	19,965
資産合計	52,188	43,608
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,723	4,874
未払法人税等	1,580	92
その他	1,936	1,491
流動負債合計	10,240	6,457
固定負債		
退職給付に係る負債	51	51
固定負債合計	51	51
負債合計	10,292	6,509

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	847	847
資本剰余金	1,969	2,028
利益剰余金	40,332	43,250
自己株式	△1,473	△9,272
株主資本合計	41,675	36,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220	245
その他の包括利益累計額合計	220	245
純資産合計	41,896	37,098
負債純資産合計	52,188	43,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
売上高	28,744	32,997
売上原価	20,731	25,061
売上総利益	8,012	7,936
販売費及び一般管理費	2,159	2,357
営業利益	5,852	5,578
営業外収益		
受取利息	12	39
受取配当金	35	36
受取事務手数料	8	8
受取賃貸料	5	6
その他	2	7
営業外収益合計	63	98
営業外費用		
雑損失	6	10
営業外費用合計	6	10
経常利益	5,909	5,666
特別損失		
固定資産除却損	-	240
特別損失合計	-	240
税金等調整前四半期純利益	5,909	5,426
法人税、住民税及び事業税	1,652	1,267
法人税等調整額	145	403
法人税等合計	1,797	1,670
四半期純利益	4,112	3,755
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,112	3,755

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
四半期純利益	4,112	3,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	24
その他の包括利益合計	7	24
四半期包括利益	4,119	3,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,119	3,780
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年1月23日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式7,695株を処分いたしました。また、2026年3月18日開催の取締役会決議に基づき、2026年3月19日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により自己株式300,000株を取得いたしました。さらに、2026年7月27日開催の取締役会決議に基づき、2026年7月28日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により自己株式400,000株を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が7,799百万円増加し、当第3四半期連結累計期間末において自己株式が9,272百万円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、医療情報システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	728百万円	420百万円

3. その他

(1) ハードウェア仕入実績

当第3四半期連結累計期間のハードウェアの仕入実績について、当社グループは単一セグメントとしているため、種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)	
	仕入高(百万円)	前年同期増減率(%)
ハードウェア	14,489	26.6
合計	14,489	26.6

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注実績について、当社は単一セグメントとしているため、種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)			
	受注高(百万円)	前年同期増減率 (%)	受注残高(百万円)	前年同期増減率 (%)
ソフトウェア	11,628	12.7	9,300	46.0
ハードウェア	21,620	15.9	15,603	15.8
その他	703	△26.4	311	△14.3
合計	33,952	13.4	25,215	24.8

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績について、当社は単一セグメントとしているため、種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)	
	販売高(百万円)	前年同期増減率(%)
ソフトウェア	7,463	△7.5
ハードウェア	16,368	32.7
保守サービス	8,424	12.8
その他	740	△15.5
合計	32,997	14.8